

住宅統計における「居住水準」等の集計に関する基礎的・実証的研究：集計処理方法の違いによる差の実態を対策

飯田，利彦

<https://doi.org/10.11501/3181896>

出版情報：九州芸術工科大学，2000，博士（工学），論文博士
バージョン：
権利関係：

第4章 「居住水準」の「住戸型別面積基準」による判定	114
4-1. 研究の目的と方法	115
4-2. 分析対象と分析方法	118
4-2-1. 分析対象	118
4-2-2. 分析方法	120
4-3. 結果と分析 1：昭和61年調査	123
4-3-1. 専有面積と居住室面積	123
4-3-2. 収納、衛生、通路の面積構成	129
4-4. 結果と分析 2：平成3年調査	136
4-4-1. 専有面積と居住室面積	136
4-4-2. 収納、衛生、通路の面積構成	143
4-5. 住戸型と居住世帯について	152
4-6. まとめ	154
第5章 「国勢調査報告」と「住宅統計調査報告」の比較検討	
—住宅の所有関係別住宅数の比較—	158
5-1. 研究の目的と方法	159
5-2. 分析の対象、及び分析方法	160
5-2-1. 分析の対象	160
5-2-2. 分析方法	161
5-3. 結果と分析	163
5-3-1. 12大都市について	163
5-3-2. 3都道府県下（宮城県、東京都、福岡県）全市・区について	179
5-4. まとめ	191
第6章 結論（各章の要約、及び対策）	194
謝 辞	207
研究発表等の記録	208～221